

登録日 2019/1/22

登録番号 Nsci032

腫瘍名 非小細胞肺癌

申請医師 呼吸器内科

### 投与スケジュール

CBDCA+nab-PTX+Pembrolizumab			21日毎 × 4コース (5コース目から、キイトルーダのみPDまで継続)		
			1コース	2コース	
			1	22	
			8	...	
			15	(day)	
①	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓
②	デキサート 生理食塩水	3.3 mg 50 mL	点滴 30分	↓	↓
③	生理食塩水 (前投薬用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓
④	キイトルーダ 生理食塩水	200 mg 100 mL	点滴 30分	↓	↓
⑤	生理食塩水 (キイトルーダ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓
⑥	生理食塩水 (アブラキサン用のプライミング用)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓
⑦	Day1投与時 側管 アブラキサン 生理食塩水	100 mg/mf 100 mL	点滴 30分	↓	↓
⑧	Day1投与時 側管 生理食塩水 (アブラキサン用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓
⑨	Day1投与時 側管 カルボプラチン 5%ブドウ糖	AUC 6 250 mL	点滴 60分	↓	↓
⑩	生理食塩水 (カルボプラチン用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓
5コース目から、PembrolizumabのみPDまで継続					
			5コース	6コース	
			1	22	
			8	...	
			15	(day)	
①	生理食塩水 (プライミング用)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
②	キイトルーダ 生理食塩水	200 mg 100 mL	点滴 30分	↓	↓
③	生理食塩水 (キイトルーダ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓

### 注意事項

- ・適応: 扁平上皮がんの使用
- ・キイトルーダはインラインフィルターを使用する。
- ・アブラキサンはインラインフィルターを使用しない(アルブミン結合製剤のため、目詰まりを起こすため)  
特定生物由来製剤に該当することから、施用記録の保存は他の特定生物由来製剤に準ずる。  
血液製剤の同意書は3カ月ごとに取り直す(当院輸血委員会の取り決め)
- ・CBDCA量(mg) = AUC X (GFR + 25) GFRはCLcrで近似する。

【調製上の注意】  
キイトルーダの希釈後の最終濃度は1~10mg/mLとする。  
アブラキサンの懸濁液は調製後速やかに使用する。または、冷所(2-8℃)に遮光保存して8時間以内に使用する。

### 参考文献

- 1) L. Paz-Ares, et al, New Engl. J. Med., 379, 2040-2051 (2018).
- 2) キイトルーダ添付文書2018年12月改訂版
- 3) アブラキサン添付文書2018年11月改訂版
- 4) カルボプラチン添付文書2018年1月改訂版